



第 66 回人権週間行事

講演と映画のつどい

講演

インターネット時代における人権

～ 人は一人ひとり違う ～ (手話通訳あり)

すずき

こうじ

講師 **鈴木 宏治** さん (地域福祉プロモーター・福祉チャレンジャー)

■茨城県出身 ■有限会社アクティブコンピュータ代表取締役

■元茨城大学外部講師(生涯学習教育研究センター)

■茨城県地域福祉プロモーター会・会長

競争社会の中で、いつの間にか正解や答えを出すこと(正解の呪縛)が心のどこかにないだろうか。自分と違うことが、悪いこと、嫌なことではないということを伝えたい。インターネット時代の現状、問題点、自分も他人も傷つけない対策など、いかにしてこの危険なインターネット社会から自分を守るのか。



映画

「ヒーロー」(34分・字幕あり)

近年、社会から孤立している人が増えてきており、孤独死などが大きな社会問題となっている。家族や地域、職場のつながり、いわゆる血縁や地縁、社縁の希薄化による問題である。主人公をとおして、こうした「無縁社会」の中で、地域で起こる身近な人権問題に対し、傍観者ではなく主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを実感できる作品。

平成 26 年 12 月 5 日 (金) 13:30～16:10 (開場 13:00)



江戸川区総合文化センター小ホール

入場無料 当日受付(先着順) 定員 350 名

主催: 江戸川区

協賛: 人権擁護委員(江戸川地区)

公益財団法人 東京都人権啓発センター

問合せ: 江戸川区総務部総務課 電話: 5662-6264 (直通)

12月4日から10日は「人権週間」です。

みんなで築こう 人権の世紀

～ 考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心 ～

人権の尊重、それは誰もが幸せに生きていくために必要なものです。
しかし、現実には、私たちの社会には差別や人権侵害があります。
あらゆる差別をなくすためには、私たち一人ひとりが自分のこととして考え、行動していくことが大切です。

「第66回人権週間」強調事項

- 女性の人権を守ろう
- 子どもの人権を守ろう
- 部落差別をなくそう
- 人身取引をなくそう
- 外国人の人権を尊重しよう
- 熟年者を大切にすることを育てよう
- 性的指向を理由とする差別をなくそう
- 障害のある人の自立と社会参加を進めよう
- 性同一性障害を理由とする差別をなくそう
- HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見をなくそう
- 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- インターネットを悪用した人権侵害をなくそう
- 東日本大震災に起因する人権問題に取り組もう
- 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- 刑を終えて出所した人に対する偏見をなくそう
- アイヌの人々に対する理解を深めよう
- ホームレスに対する偏見をなくそう

【差別をしない、させない、許さない】

江戸川区は、部落差別をはじめ、あらゆる差別の解消と
人権問題解決に向けて人権啓発に取り組んでいます。

江戸川区総務部総務課 電話:5662-6264(直通)